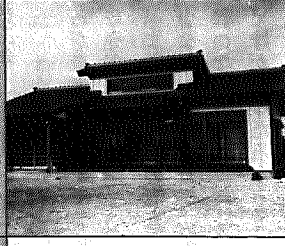
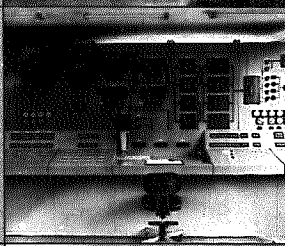
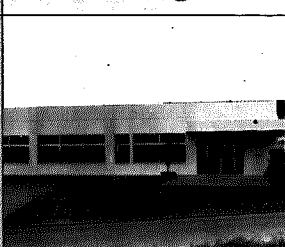
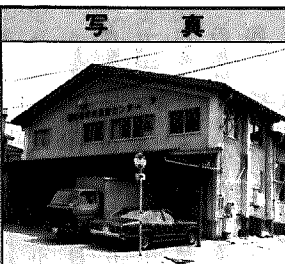
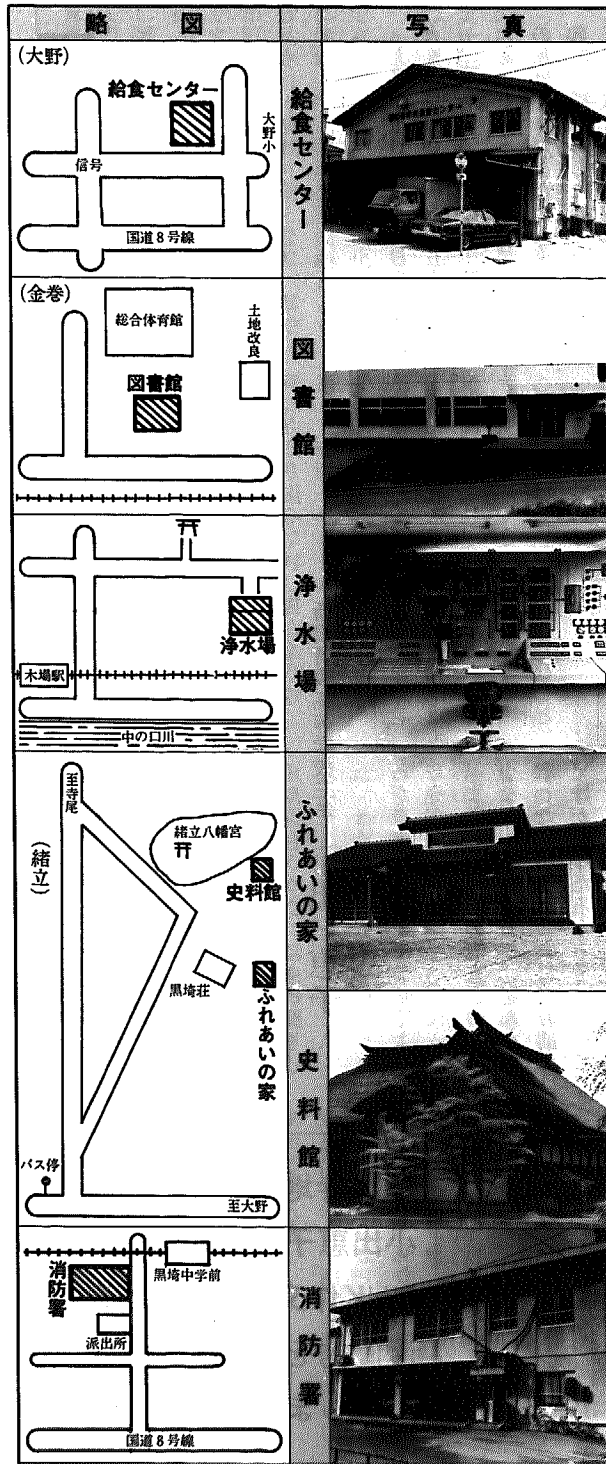


見て聞いて触れてあらためて納得。



図書館では意見が出た



バスで回りました



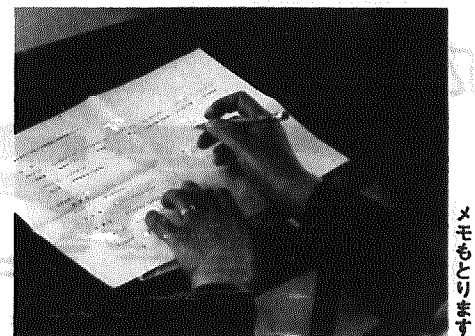
浄水場で説明を聞く



質問と婦人会



答弁する町長



メモとり

意見、要望、質問が続出

三月二日、町では移動町政セミナーを開きました。婦人協議会のかた十一人に参加していただき、町内各地にある町の施設を見学しあわせて質問や意見も受けました。見学した施設は、給食センター、図書館、浄水場、ふれあいの家、史料館、消防署の六か所。初めて見る施設も多くたくさんの方の意見が出されました。

特に要望が強かったのは図書館とふれあいの家、どちらも昨年十一月に出来たばかりの施設です。

一通り見学を終えた後は中央公民館で座談会。ここでは婦人協議会の在り方が話の中心となり、町も婦人協議会も一緒に町づくりを進めていきたいという結論になりました。要望、意見などは今後の広報で取り上げます。

よかった施設見学

上山田 青木 幸子

三月二日、町長自ら案内して下さる『第一回移動町政セミナー』に参加しました。これは、町民各階層の生の声を聴き、町政に反映させようと企画されたものです。午前十時に役場を出発しました。給食センター、図書館、浄水場、ふれあいの家、常民文化史料館、消防署を見学しました。

行く先々で町長さんをはじめ、各施設の担当課長さん、職員さんから説明を受けました。各施設のかたがたが日夜努力しておられるようすがうかがわれました。

特に図書館では、要望、意見などたくさんあり、町長さんは「今後圖書の充実に努めたい」、「夜間の貸出しも検討している」、「今年には社会教育に力を入れたい」と前向きな答弁で心に残りました。

ふれあいの家は十二月完成したばかりで、他町村にはまだないものなそうです。老人だけでなくわたしたち婦人会の勉強の場として使ってほしいということ。

最後に参加者全員から「よかったわ」という感想。住みよい町づくりとは、自分たちが住んでいる町を誇りに思い、住民一人一人が結集して実現するものだと思いました。

参加者の談